

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)9222
担当部課名	保健福祉部	地域福祉	課	民生 班
事務事業名	災害援護事業		事業コード	11420

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第4節	援護を要する人の自立援助	~63 年度
施策名	第2施策	生活の安定	

2 実施根拠及び関連法令等

市災害緊急特別融資要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
災害救助法の適用を受けない風水害等により、家屋の全壊・半壊・床上浸水以上の被害を受けた世帯に対し、低利で簡便に利用できる融資制度で被災者の生活の安定を図る。		被災者	
		対象数	平成12年度に1件
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
横浜銀行に10,000千円の預託 平成13年度は融資の実績なし。		公的貸付制度等による援護	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	制度利用率	制度利用による早期自立度
指標式	利用件数 / 風水害件数 × 100	早期生活の安定が図れた件数 / 風水害被害総数
指標設定の意図	風水害の発生件数における制度利用状況	制度利用により、いかに速やかな生活安定が図れたか

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	0	25	a 0	b 0	0
指標	0	50	c 0	d 0	0
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	0	1,000	0	0
	人員・時間数	1時間	74.5時間	1時間	1時間
	人件費	4	311	4	4
	その他経費	0	0	0	0
	合計	4	1,311	4	4
特定財源	0	1,000	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 C ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B:一部達成していない(100%> 80%)	
	C:達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由:	平成13年度は災害がなく、貸付が行なわれなかったため。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 B ▼	A:適応している	理由: 貸付金利が数年間固定されたままで、経済状況を的確に反映していない。
	B:一部適応していない	
	C:適応していない	
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 C ▼	A:妥当である	理由: 銀行に預託する10,000千円は1年間動かせない状態にあり、他の制度に移行することでこの予算を他に回すことができる。
	B:一部妥当でない	
	C:妥当でない	
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 C ▼	A:代替の可能性ない	理由: 社会福祉協議会の緊急援護資金等で対応ができる。
	B:代替の可能性低い	
	C:代替の可能性高い	
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A:満足できる	理由: 貸付額については概ね満足が得られている。
	B:一部満足できない	
	C:満足できない	
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 B ▼	A:有効である	理由: 有効性は認めるが、利用実績を考え他の手法を考えるべきである。
	B:一部有効である	
	C:有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 貸付限度額を引き上げる。対象を風水害に限らず、火災にも広げる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 利子補給制度等、他の制度を導入することで、平時の負担の軽減を図ることができる。

7 総合評価

評価 B ▼	他自治体の類似事業との比較	各自治体とも預託金や利子補給、直接貸付等によって同様の事業を展開している。
		<p>今後の進め方</p> <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
説明		現行の預託金による制度維持が望ましいかどうか、ペイオフ本格導入の問題と併せて考えるなければならない。また、利用実績の低さを考えると、ただ預託金を預けているだけでは、この低金利の時代、非常に無駄なことである。そこで、利子補給制度等の他の制度の導入について研究を重ねる必要がある。

8 二次評価における変更点

--